

2月10日（火）

きょうは、デザートの「いよかん」のお話をします。

「いよかん」は、今から約140年前の明治19年に、山口県の
果樹園で偶然発見された品種で、当時は穴門みかんと呼ばれています
した。偶然発見されたため、詳しくは分かっていませんが、みかんと
オレンジがかけ合わさった品種ではないかと言われています。その
後、愛媛県の人が原木を買って、愛媛県で栽培されるようになり、
愛媛県の昔の地名が伊予と呼ばれていたことから、伊予のみかんで
「伊予柑」と呼ばれるようになりました。みかんや伊予柑などは、ビ
タミンCがたっぷりで、力ゼなどの病気の予防になりますので、しつ
かり残さずに食べて、もう少し続く、寒い季節を元気に乗り切りまし
ょう。